

【2014年6月1日～2015年10月15日の間、前立腺MRIを施行された患者さんへの
お知らせ】

〈前立腺癌の腫瘍検出、被膜外浸潤の評価における高分解能拡散強調像の有用性：
後ろ向き研究による検討〉

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、2014年6月1日～2015年10月15日の間、当院で前立腺MRIを施行された方につきまして、高分解能拡散強調像を用いた前立腺癌の腫瘍検出および病期診断（被膜外浸潤）の有用性を検討するための後方視的調査研究を実施いたします。

高分解能拡散強調像を含んだ前立腺MRI画像、臨床所見および病理組織学的所見を検討し、前立腺癌の腫瘍検出能および被膜外浸潤の診断能の向上に対して高分解能拡散強調像が寄与するか否かを明確にすることを目的としております。

調査実施期間は倫理委員会承認日から2年間の予定です。

1. 治療介入を伴わない「観察研究」で、既存資料のみを用いた研究であるため、新たに人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究は主任研究者の教員研究費および分担研究者の大学院生指導費を用いて行われます。またこの研究課題を実施する関係者には、コニカミノルタヘルスケア株式会社、テルモ株式会社、エーザイ株式会社、第一三共株式会社、旭化成ファーマ株式会社、アステラス製薬株式会社、武田薬品工業株式会社、ファイザー株式会社、キッセイ薬品工業株式会社、日本新薬株式会社、中外製薬株式会社より、奨学寄付金の受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。なお、上記企業は、本研究課題には直接関係はない企業です。
2. 研究に関してご質問のある方や、研究参加を希望されない方は、下記までご一報くださいますようお願ひいたします。

問い合わせ先：放射線医学（画像診断1）准教授 玉田 勉
電子メール：ttamada@med.kawasaki-m.ac.jp
TEL：086-462-1111（内線44201）
FAX：086-464-1123